

新潟下田山塊

姫小百合が舞う粟ヶ岳

TK

やつとの思いで七合目の粟ヶ岳ヒュッテにたどり着く。毛布もあり綺麗に維持されている。貸切りであった。

この避難小屋のロケーションも良い上に天気も良かったので小屋前のベンチからは越後平野や遠くの間山々がよく見える。太陽は6月なのでまだまだ沈みそうになく、ベンチは風も弱く暖かい。展望を楽しみながらお茶を飲み、ゆっくり歓談する。世間の煩わしさも自分のことも考えず、のんびり、ゆったりした時間を過ごさせて戴いた。

やがて陽が日本海の佐渡の

山波にかかるとあつと

言う間に沈

む。町の灯り

も見え始め

る。月は隠れ

ており星空も綺麗だ。新潟はまだ梅雨入り前だが、やや霏っており天の川も日本海の漁り火も確認できないのが残念。「流れ星!!」とImさんの声が聞こえる。



朝方起きると三日月が東から昇り、朝焼けが始まる。山々は良く見えるものの、雲は下界に広がり相変わらず日本海は見えない。朝食を摂り、今日も期待を込め頂上に向かう。

登山道脇にも、雪解けの崩

壊地の陽当たりの良い場所

も、薄ピンク、濃いピンク色

と姫小百合が満開、まだ赤い

蕾も時々目に入る。濃いピン

ク色の花からは良い香りが漂

ってくると同行者は口々に言

うが鼻の悪い私には全く匂わ

ない。咲き始めは色も香りも

濃く、だんだん薄くなるよう

である。山百合などに比べ二

回りから三回り位小さい感じ

であり、姫小百合あるいは別

名の乙女百合という名前がピ

ツタリである。小屋からの姫

小百合ロードは頂上まで続い

ていた。



頂上には山名盤がある。飯豊連峰、御神楽岳、吾妻山、磐梯山、守門岳と奥に浅草岳・魚沼三山、GWに登った米山など刈羽三山、越後三山(国上山・弥彦山・角田山が越後三山と下山口にいた地元の方は言っていた)、佐渡の山波、遠く鳥海山と山水画のように四方八方良く見えた。ここで

は過去、未来の山行の花が咲いた。



姫小百合はある程度の光を好むようだ。今回見られたギフチョウ、大名セセリ、アカシジミなどの蝶も光を好む。ということでは登山者の都合で切り開き、草刈りなどした登山道も姫小百合や蝶にも都合の良い部分もあるのだろうか？栗

ヶ岳登山道では岩鏡、岩団扇などの植物も毛虫・バッタ類・鶯等の鳥などもたくさん見かけ、人間にとつて害虫のヒル、ダニもいた。うまく共存共栄出来ていれば良いのか??

栗ヶ岳の立派な山塊が望まれる加茂美人の湯で入浴、食事とする。加茂市は桐ダンスで有名とKkさんが言っていたが、その技術の継承と思われる寄せ木細工の引き戸が飾られている。寄せ木には濃淡があり離れてみると大きな栗ヶ岳が浮かび上がって来る。

【山行日】H 27年6月10日
11日

【参加者】河原塚、佐々木雅、石田、TK

